

2023（令和5）年度 ACT 座談会 開催報告

イベント名： 大学を飛び出せ ACT 座談会 ～学生交流してみませんか～
日時： 2023（令和5）年10月14日（土）13:00～15:00
会場： キャンパスポート大阪
対象： 大学コンソーシアム大阪会員大学の学生・大学院生
参加者数： 5大学5名（うち、留学生1名）
 （大学別）大阪大学1名、大阪公立大学1名、追手門学院大学1名、摂南大学1名、
 阪南大学1名
 （学年別）2年生2名／3年生2名／修士1年生1名
企画・運営： 大学コンソーシアム大阪 インカレ学生ボランティアチーム ACT

1. インカレ学生ボランティアチーム ACT について

(1) 設立経緯・主旨

インカレ学生ボランティアチーム ACT*（アクト）は 2021 年 3 月に大学コンソーシアム大阪の企画による「インカレ座談会」をきっかけに発足し、高校生向けイベントや座談会等、大阪の大学生による学生間の交流促進を目的とした自発的・主体的な取組を行っている。

※ACT=Active Communication Team の略。

(2) 構成メンバー ※2023 年 7 月現在

8 大学 13 名

（大学別）追手門学院大学 1 名、大阪学院大学 1 名、大阪工業大学 2 名、関西大学 1 名、近畿大学 1 名、摂南大学 1 名、相愛大学 4 名（うち、留学生 1 名）、阪南大学 2 名

（学年別）2 年生 2 名、3 年生 5 名、4 年生 6 名

2. イベントの趣旨

- ・他大学の学生間との学部・学年を超えた交流の機会を創出する。
- ・複数テーマによる座談会を通して大学生活における新たな視点を得る。

3. プログラム

時 間	内 容
13:00～	オープニング
13:10～	アイスブレイク ～サイコロトーク～
13:30～	座談会 テーマ① 大学生活 テーマ② 大学の講義 テーマ③ フリーテーマ
14:50～	エンディング



周知用チラシ

4. 実施内容

- ・アイスブレイク、座談会ともに参加者を2班に分け、各班に ACT メンバーを振り分けて行った。
- ・アイスブレイクでは、サイコロトークを行った。一人ずつサイコロを振り、出た目のテーマ（休日の過ごし方、最近の嬉しかった出来事等）に基づいて話した。
- ・座談会では、「大学生活」、「大学の講義」、「フリーテーマ」の3つのテーマに基づいて話した。大学生活においては、アルバイトや勉学に励む人等、様々な学生の一面が見られた。講義のテーマでは他大学の講義の様子を知ることができた。フリーテーマにおいては勉強方法等、各自の特徴がみられる話を聞くことができた。

5. 所感

- ・今回の座談会は、7月に開催した ACT 活動紹介&交流会を機に加わった新メンバーを交えての初のイベントとなった。準備から当日の運営までのノウハウを共有し、座談会企画のテンプレートを作成していった。ACT 座談会を ACT の定番イベントにするべく、今後も行っていきたい。

6. 当日の様子（写真）



アイスブレイク（サイコロトーク）



座談会



座談会



集合写真

7. 参加者アンケート

別紙のとおり

以上

ACT座談会（2023年10月14日開催） 参加者アンケート 集計結果

回答者数5名/参加者数5名 回収率100%
※設問1は申込フォームより抜粋

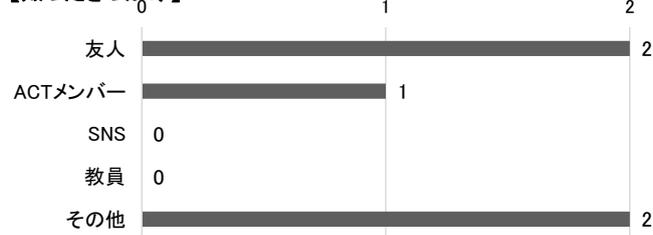
1. イベントを知ったきっかけ

1 SNS	0
2 教員からの紹介	0
3 友人からの紹介	2
4 ACTメンバーからの紹介	1
5 その他	2

【その他】

- ・ チラシ
- ・ 大学の掲示板

【知ったきっかけ】

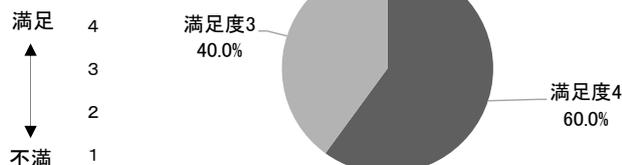


2. 参加理由

- ・ 友人に誘われた。(他1名)
- ・ 他大学の人たちと交流してみたいから。
- ・ 視野や価値観を広げたいと思ったから。
- ・ 留学生として日本語を運用したい。

3. イベントの満足度

【満足度】※4段階評価



4. イベントに参加した感想

- ・ 参加して、新たな知見を得た。
- ・ ACTメンバー間の雰囲気がとても良かった。
- ・ 楽しかった。
- ・ 参加してよかった。
- ・ 自身の日本語がまだ拙い。今後も勉強するしかない。

5. イベントの改善点

- ・ 参加者人数がもう少し欲しい。

6. 今後、あったら良いと思うイベント

※無回答

7. ACTメンバーへの参加

1 参加する	2
2 参加しない	1
3 検討中	2

【ACTメンバーへの参加】

